

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 4日 ～ 2026年 2月 18日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2026年 2月 4日 ～ 2026年 2月 18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 4日 ～ 2026年 2月 18日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4 (回答数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方や訪問先に寄り添った進め方ができる。	対象児童の様子を踏まえ、訪問先の環境に応じた支援と一緒に考えています。各訪問先に同一の取り組みを提案するのではなく、児童や訪問先の状況に合わせた個性のある支援を大切にしています。	研修を通して支援の引き出しを増やし、柔軟で幅広い対応ができるよう努める。
2	多職種で取り組みを持つことができる	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、看護師、心理士と子どもたちに必要な支援について話し合うことで、日々の生活で取り組むことができることを提案します。	引き続き取り組みを行い、他の専門職と子どもの発達について共有した上で各ご家庭での支援にも繋げることができるよう努めて行きます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個々に合わせた訪問を行っているため、担当件数を多く持つことができない。	一人一人に合わせて訪問、取り組みをしているので、今後も多くの件数を持つことができない。 兼務している職員が多い為、実際に訪問に行く事ができる日が限られている。	記録作成の効率化を図り、保育所等訪問支援を希望される方に支援ができるように受け入れていきたいと思っています。